

看護学部看護学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	31	人体構造と機能Ⅲ
3年	135	地域包括ケア論
	161	実務経験を有する教員一覧

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	NSFa03				
			●							
科目名	人体構造と機能Ⅲ				単位認定者	千葉 美麗		評価の方法	試験(筆記)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	人間の健康障害をきたす疾患を理解する上では、正常な体の構造とその機能を理解する必要がある。人体構造と機能Ⅲでは、中枢神経系、末梢神経系、感覚器系、内分泌系、血液、免疫系の構造と機能など、看護実践の臨床判断に必要な基礎的知識を学修する。									
到達目標	1. 中枢神経系（大脳、間脳、脳幹、小脳、脊髄）の構造と機能を理解できる。 2. 末梢神経系（脳神経、脊髄神経、体性神経、自律神経）の構造と機能を理解できる。 3. 感覚器系（視覚、聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、内臓感覚）の構造と機能を理解できる。 4. 内分泌器官の構造とホルモン作用を理解できる。									
学修者への期待等	分からない単語、漢字の読みは教科書、レジメに記すこと。授業後に必ず授業内容に目を通し、復習すること。									
回	授業計画				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	神経の構造・機能				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
2	髄膜、脳室、脳幹				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
3	大脳、脳神経、末梢神経				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
4	脊髄、神経叢				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
5	大脳地図1（前頭葉、運動野と感覚野、ブローカ野）				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
6	大脳地図2（頭頂葉、側頭葉、後頭葉、大脳辺縁系）				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
7	大脳基底核、白質				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
8	脳神経1（Ⅰ（嗅神経）～Ⅵ（外転神経））				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
9	脳神経2（Ⅶ（顔面神経）～Ⅻ（舌下神経））				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	千葉 美麗	
10	画像診査				事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。		0	30	細川 亮一	

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
11	皮膚と粘膜	事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。	0	30	細川 亮一
12	感覚系	事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。	0	30	千葉 美麗
13	内分泌系	事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。	0	30	細川 亮一
14	血液1（成分と機能）	事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。	0	30	細川 亮一
15	血液2（血液凝固、血液型）	事後学修：解剖学用語、生理学用語が多く出るので授業後に復習すること。	0	30	細川 亮一
アクティブ・ラーニング	☒ 該当なし ☐ 該当あり：キーワード（ ）				
教科書	『系統解剖学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1』坂井建雄他著、医学書院				
参考文献	『からだが見える 人体の構造と機能』医療情報科学研究所編、メディックメディア				
備考	授業内課題はレポートで評価し、適宜フィードバックする。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	NSMb05				
		●	●		●					
科目名	地域包括ケア論				単位認定者	真溪 淳子		評価の方法	試験 (筆記)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	3 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題	60 %
						授業時間数	15 時間			
					授業形態	講義	授業回数		8 回	
授業の概要	地域包括ケアシステムの目的・意義、関連する保健医療福祉制度を理解し、個人・家族が住み慣れた地域で生涯生活する仕組みについて学ぶ。地域包括支援センターの役割・機能について理解を深め、個人・家族を中心として、グループ・関係機関・多職種・専門職が連携し協働する方法、看護職の役割など、地域包括ケアに関する基礎的知識を学修する。									
到達目標	1. 地域包括ケアシステムの理念を理解し、関連する諸制度について説明できる。 2. 地域包括支援センターの役割と機能について説明できる。 3. 地域包括ケアにおける高齢者への支援と多職種連携について説明できる。 4. 地域包括ケアにおける障害者・子どもへの支援と多職種連携について説明できる。									
学修者への期待等	誰もが可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい生活を送り続けられるように、地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムの構築が求められています。患者、住民を支援するための多職種連携において、看護職として役割を果たせるよう、地域包括ケアシステムについて理解を深めてください。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	地域包括ケアシステムの理念					事前学修：地域包括ケアシステムの背景と理念について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する		30	30	真溪 淳子
2	地域包括ケアシステムを取り巻く保健医療福祉の制度					事前学修：地域ケアシステムに関する関係法規と制度について教科書を読んで授業に臨む 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する		30	30	真溪 淳子
3	介護保険制度における地域包括ケアシステムとケアマネジメント					事前学修：介護保険制度と地域包括ケアシステムの機能について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する		30	30	真溪 淳子
4	地域包括支援センターの役割と機能					事前学修：授業で提示するテーマについて下調べをする。 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する		30	30	手塚 有希子
5	地域包括ケアにおける障害者への支援					事前学修：授業で提示するテーマについて下調べをする 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する		30	30	手塚 有希子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
6	地域包括ケアにおける子どもへの支援	事前学修：授業で提示するテーマについて調べをする 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する	30	30	手塚 有希子
7	地域包括ケアにおける多職種連携 ①高齢者を対象とした多職種による模擬会議	事前学修：高齢者支援に関する関係職種と多職種連携について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する	30	30	真溪 淳子 東海林 美幸 手塚 有希子
8	地域包括ケアにおける多職種連携 ②障害者・児を対象とした多職種による模擬会議	事前学修：障害者・児支援に関する関係職種と多職種連携について教科書を読み授業に臨む 事後学修：授業で取り上げたポイントについて復習する	30	30	真溪 淳子 東海林 美幸 手塚 有希子
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（グループワーク）				
教科書	『ナースィング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア』石田千絵他編、MCメディカ出版				
参考文献	なし				
備考	授業内課題は各回の提出物で評価し、次の授業の中でフィードバックを行います。 第7・8回の授業では多職種連携についてのグループワークを行います。 第5回はゲストスピーカー（坂本由郁）を招き、授業を行います。 第6回のゲストスピーカー（平原真紀）担当分は遠隔（オンライン）で授業を行います。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
担当教員は保健師の資格と行政保健師・産業保健師等として17年間の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が地域包括ケアの実際について理解を深められるように授業を行います。（真溪）

実務経験を有する教員一覧

【看護学部 看護学科】

科目名称	履修年次	単位数	教員氏名	実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性
人体構造と機能Ⅰ	1	2	大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が解剖学について理解を深め、解剖学の知識が身につくような授業を行います。
人体構造と機能Ⅱ	1	2	田林 暁一	医師として5年以上の臨床経験があり、それを活かし、呼吸器、循環器、消化器、泌尿器、及び生殖器の構造と機能を理解させる。
栄養学	1	1	高泉 佳苗	管理栄養士として病院に勤務した実務経験（4年）を有する。授業では病院での栄養管理業務の経験を活かした授業を行う。
病理学	1	1	齋木 由利子	病理専門医として5年以上の実務経験を活かし、人体の主要な疾患の病態について概説する。
病態治療学Ⅰ	1	2	田林 暁一 小山 周樹 長屋 慶 中川 國利	医師として5年以上の臨床経験があり、それを活かし放射線、麻酔法、血液系、免疫系疾患の病態と治療について講義する。
病態治療学Ⅱ	1	2	田林 暁一 渡辺 卓 布施 昇男 橋本 省 高橋 隼也	医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて循環、呼吸、眼科、耳鼻科、及び皮膚科疾患の原因、病態、及び治療法について講義する。
病態治療学Ⅲ	1	2	湯田 健太郎 田子 竜也 長谷川 喬彦	医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて栄養の摂取・消化・吸収・代謝、内部環境調節、排泄、男性生殖器疾患の病態と治療について講義する。
看護薬理学	1	2	木村 勝彦	薬剤師として30年以上の実務経験があり、それを活かして薬理学的知識とその活用、看護に必要な薬物療法について講義する。
看護学概論	1	2	木下 美佐子	看護師と、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、学生が看護に関する基本的概念、看護実践における主要な看護理論について理解が深められるよう授業展開する。
看護倫理	1	1	木下 美佐子	看護師と、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、看護実践における看護倫理について理解が深められるよう授業展開する。
看護過程論	1	2	木下 美佐子	看護師と、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、看護実践における看護過程展開について理解が深められるよう授業展開する。
基礎看護技術Ⅰ	1	1	竹田 理恵	担当教員は、看護師として5年以上の実務経験を有し、学生が科学的根拠に基づく看護の実践に必要な基礎的知識について理解を深め、看護技術を修得し看護実践能力の基盤をつくることができるよう、実践的な授業を行います。
基礎看護技術Ⅱ	1	2	竹田 理恵	担当教員は、看護師として5年以上の実務経験を有し、学生が日常生活援助技術の基礎的知識について理解を深め、科学的根拠に基づく看護実践能力を修得できるよう、実践的な授業を行います。
基礎看護技術Ⅲ	1	1	二口 尚美	消化器・血液内科で10年の実務経験と看護師資格を有しており、その経験を活かした実践的な授業を行います。
基礎看護技術Ⅳ	1	2	佐藤 清湖	担当教員は、看護師資格を有し、臨床の看護師としての5年以上の実務経験を活かして学生が診療援助技術を理解し、技術を修得できるよう、実践的な視点を踏まえて指導します。
成人看護学概論	1	1	佐藤 富美子	看護師としての5年間の臨床における実務経験を活かし、成人期の発達課題、生活と健康について理解が深められるよう授業を展開する。
基礎看護学実習Ⅰ	1	1	木下 美佐子	看護師、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、看護が実感できる実習展開をする。
基礎看護学実習Ⅱ	1	2	木下 美佐子	看護師、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、根拠を持った看護実践に取り組み看護師としての基本的態度が身につく実習展開をする。
法学入門	2	1	鈴木 一樹	公認会計士として5年以上、企業等の会計監査、税理士として税務業務、不動産鑑定士として鑑定評価業務に従事。

病態治療学Ⅳ	2	2	平山 和美 日下部 隆	医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて運動、神経疾患の病態と治療について講義する。
チームアプローチ入門	2	1	高橋 由美 網本 和 外里 富佐江	看護師、理学療法士、作業療法士（病院等に5年以上勤務）として、チーム医療の実務経験を活かし、学生の理解を深められるような授業を展開する。
地域・在宅看護学概論Ⅰ	2	1	小林 淳子	担当教員は看護師・保健師の資格と行政保健師として5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が地域・在宅看護の概要についてイメージできるよう授業を行います。
地域・在宅看護学概論Ⅱ	2	1	高橋 由美	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護（訪問看護師・ケアマネジャー）の実務経験を活かし、具体例をあげながらわかりやすく説明する。
成人看護学援助論	2	2	佐藤 富美子	教員は成人看護学分野で5年の実務経験と看護師・保健師資格を有し、その経験を活かした実践的な授業を展開する。
成人看護学援助方法	2	2	阿部 春美 岡崎 優子 伊藤 茉莉子 遠藤 美穂子 泉田 さとみ 小倉 真紀	担当教員は成人看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かした実践的な授業を行います。
老年看護学概論	2	1	齋藤 美華	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師および保健師の資格を有しており、その経験を活かして老年看護学に関する基礎的知識について理解が深められるよう教授します。
老年看護学援助論	2	2	齋藤 美華 桑田 恵美子	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして老年看護学の実践に必要な基礎的知識・技術が修得できるよう教授します。
老年看護学援助方法	2	1	齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして高齢者及び老年看護の役割の理解、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。
小児看護学概論	2	1	佐藤 幸子	この授業では、小児看護を実践するために必要な知識・技術・態度を学修する。そのため教員は看護師・保健師としての7年以上の実務経験を活かし、臨床現場で活用できる授業を展開する。
小児看護学援助論	2	2	武田 美奈子	教員は小児看護分野において10年以上の実務経験と看護師資格を有しており、その経験を活かしたアセスメントやケアについて実践的な授業を行います。
			岡崎 草代夏	教員は看護分野において8年以上の実務経験と看護師資格を有しており、その経験を活かした看護技術について授業を行います。
小児看護学援助方法	2	1	佐藤 幸子	看護師・保健師としての7年以上の実務経験を活かし、子どもの病棟・外来での看護、慢性期・急性期にある子どもとその家族への看護の実践方法について教授する。
			武田 美奈子	看護師としての10年以上の実践経験を活かし、ハイリスク新生児・在宅・感染症・災害を受けた子どもやその家族への看護の実践方法について教授する。
			岡崎 草代夏	看護師としての8年以上の実践経験を活かし、特殊な状況にある子どもやその家族への看護の実践方法について教授する。
母性看護学概論	2	1	田辺 圭子	教員は母性看護分野で20年の実務経験と看護師・助産師資格を有しており、その経験を生かし母子保健に関する社会に即した授業を行います。
母性看護学援助論	2	2	田辺 圭子 佐藤 理恵 坂村 佐知	教員は看護師・助産師（病院等5年以上の実務経験）としての実務経験を活かし、実践的な授業を行います。
母性看護学援助方法	2	1	田辺 圭子 佐藤 理恵 坂村 佐知	教員は看護師・助産師（病院等5年以上の実務経験）としての実務経験を活かし、臨床に適応できる授業や演習を行います。
精神看護学概論	2	1	小松 容子	担当教員は、精神科医療の臨床で5年以上の看護師としての実務経験と、専門看護師（精神看護）の資格を有しており、その経験を生かした授業を行う。

精神看護学援助論	2	2	村上 佑美	担当教員は精神科医師として5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かし学生が精神疾患・障害の特徴について理解を深められるよう教授します。
			阿部 幹佳 加藤 真理子	担当教員は、精神看護分野において5年以上の実務経験、看護師の資格を有しています。精神看護実践に必要な基礎的知識について、学生が具体的にイメージ出来るよう具体的な事例を挙げて教授します。
精神看護学援助方法	2	1	阿部 幹佳 加藤 真理子	担当教員は、精神看護分野において5年以上の実務経験、看護師の資格を有しています。これらの実務経験を踏まえ、臨床現場での具体的な事例や実践的視点を授業に取り入れることで、学生が精神看護学への理解を深め、看護実践につなげられるよう授業を行います。
看護過程展開方法	2	1	木下 美佐子 桑田 恵美子 阿部 幹佳 菅原 尚美 伊藤 茉莉子 岡崎 草代夏 坂村 佐知 東海林 美幸	看護師としての実務経験5年以上を活かし、学生が看護するうえで基本となる看護展開技術について理解が深められるよう授業展開する。
家族支援論	2	1	滝口 克典	NP0及び地域で、子ども・若者支援を25年行っています。その実務経験と社会問題の研究業績があり、その両者を活かした授業を行います。
			古瀬 みどり	病院及び在宅での10年以上の看護実務経験と看護師資格を有します。その経験と家族看護学の理論をリンクさせ、実践的な授業を行います。
周術期看護論	2	2	佐藤 富美子	担当教員は看護師・保健師の資格と周術期看護学分野を含む5年間の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が周術期看護の実践をイメージできるよう授業を展開する。
緩和ケア論	2	1	佐藤 富美子	看護師・保健師の資格と5年間の実務経験を活かし、学生が緩和ケア実践をイメージできるよう授業を展開する。
キャリアデザインセミナー	2	1	阿部 春美	看護師、看護管理者、看護教育分野でも5年以上の実務経験を活かし、看護専門職像としてキャリアデザインについて理解を深められるよう授業を展開する。
地域・在宅看護学実習Ⅰ	2	1	高橋 由美	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護（訪問看護師・ケアマネジャー）の実務経験を活かした授業を展開する。
領域横断看護実習	2	3	桑田 恵美子	担当教員は慢性期の患者の看護を5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして慢性期看護の理解を深め、学生が臨床現場に繋げることが出来るような実践的な授業を行います。
公衆衛生看護学概論	2	1	小林 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師として5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かし学生が公衆衛生看護の概要についてイメージできるよう授業を行います。
地域・在宅看護学援助論	3	2	高橋 由美	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護（訪問看護師・ケアマネジャー）の実務経験を活かし、多様な場・状況に応じた看護支援方法など、実践に必要な基礎的知識が身につくように授業を行う。
地域・在宅看護学援助方法	3	1	東海林 美幸	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護の実務経験（訪問看護師・ケアマネジャー）を活かし、具体的事例や看護実践方法を紹介しながら授業を行う。
地域包括ケア論	3	1	真溪 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師・産業保健師等として17年間の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が地域包括ケアの実践について理解を深められるように授業を行います。
救急救命学	3	2	堀口 雅司	救急救命士としての25年以上の実務経験を活用して、医療人の基礎となる救急医療の重要性を教授する。 医療人の基本となる人間愛と思いやりの心を持った救急対応時の知識と技術を指導する。

災害看護論	3	2	阿部 幹佳 坂村 佐知 手塚 有希子 泉田 さとみ	教員は看護師資格（実務経験5年以上）を有し、東日本大震災で被災地での救護活動や病院内での対応、地域における被災者支援の経験があります。その経験を活かした実践的な授業を行います。
看護研究Ⅰ	3	1	齋藤 美華	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師および保健師の資格を有しており、その経験を活かして看護研究の基礎および看護実践から看護研究への活用について理解が深まるような実践的な授業を行います。
成人看護学実習	3	3	佐藤 富美子	教員は成人看護学分野で5年の実務経験と看護師・保健師資格を有し、その経験を活かした実践的な授業を展開する。
老年看護学実習	3	3	齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美 小倉 真紀	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして老年看護学の理解を深め、学生が臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。
小児看護学実習	3	2	佐藤 幸子	看護師・保健師としての7年以上の実務経験を活かし、実践に則した内容を教授する。
母性看護学実習	3	2	田辺 圭子 佐藤 理恵 坂村 佐知	教員は看護師・助産師（病院等5年以上の実務経験）としての実務経験を活かし、学修した母性看護の知識や技術を臨地実習において実践できるよう指導します。
精神看護学実習	3	2	阿部 幹佳 加藤 真理子	担当教員は、精神看護分野において5年以上の実務経験、看護師の資格を有しています。これらの実務経験を踏まえ、学修した精神看護の知識や技術を臨地実習において実践できるよう指導します。
公衆衛生看護学援助論Ⅰ	3	2	真溪 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師・産業保健師等として17年間の実務経験を有しており、その経験を活かして、学生が公衆衛生看護活動の理論と活動の意義について理解を深められるように授業を行います。
公衆衛生看護学援助論Ⅱ	3	2	手塚 有希子	行政保健師として25年間の実務経験を有しており、保健センターや地域包括支援センターでの各ライフステージを対象とした保健師活動や健康危機管理活動の経験を活かし、学生が公衆衛生看護の実践について理解を深められるように授業を行います。
公衆衛生看護管理論	3	2	手塚 有希子	行政保健師として25年間の実務経験を有しており、保健センターや地域包括支援センターでの保健師活動と行政職としての行政事務の経験を活かし、学生が公衆衛生看護管理の実践について理解を深められるように授業を行います。
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	1	真溪 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師・産業保健師等として17年間の実務経験を有しており、その経験を活かして、学生が産業保健・産業保健活動の実践から保健師と養護教諭が果たす役割について理解が深められるように教授します。
	合計	94	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
		124	設置基準上の標準単位数	